

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ニッセイロジスティックセンター東大阪計画	階数	地上4F
建設地	大阪府東大阪市箕輪三丁目476番1	構造	S造
用途地域	準防火地域 準工業地域	平均居住人員	200 人
地域区分	5地域	年間使用時間	7,200 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年10月 予定	評価の実施日	2018年1月25日
敷地面積	17,230 m ²	作成者	株式会社フジタ大阪支店一級建築士事務所 山崎 浩
建築面積	9,999 m ²	確認日	2018年1月31日
延床面積	38,677 m ²	確認者	株式会社フジタ大阪支店一級建築士事務所 藤原 高



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆☆ 100%☆☆ 100%超☆☆

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.5

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.5

3 設計上の配慮事項

総合	その他
本計画は東大阪市新設される工場である。音環境・空気質環境・サービス性能に配慮し、利用者が快適に過ごせる様計画すると共に、高効率設備の採用により省エネルギーに配慮している。	特になし。
Q1 室内環境 開口部遮音、仕上材に吸音材を採用するなどした音環境、及び空気質環境にも配慮し執務者の快適性向上に付与	Q3 室外環境(敷地内) 敷地に植栽を計画し室外環境の向上と良好な景観形成に配慮している。
LR1 エネルギー 高効率設備の採用により省エネルギーに配慮している。	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出量削減に配慮している。
Q2 サービス性能 一人当りの執務スペースを十分に確保、天井高さやリフレッシュ促進にも配慮し機能性の向上に努めている。また更新間隔の長い配管材料の採用や階高・壁長さ比率に余裕を持たせ、建物の耐用性・対応性に配慮している。	
LR2 資源・マテリアル 節水器具を採用し、水資源の保護に貢献している。仕上材にリサイクル材を採用し非再生性資源保護に配慮している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2017年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H29-0142

Osakafu-新築・既存 2017V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)ニッセイロジスティックセンター東大阪計画					
		建設地	大阪府東大阪市箕輪三丁目476番1の一部					
		用途/区分	事務所 工場					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A		
	CO2削減					4		
	省エネ対策					4		
	みどり・ヒート アイランド対策					3		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.8	4	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体	3.0	4		
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価					4.9	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価					3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価					5.0	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価					3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価					3.4	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	3	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								